

京都ものづくりバレー構想の研究と推進 (JOHNAN) 講座



京都大学

設置期間 2017年4月～2020年3月

寄附者 JOHNAN株式会社

「京都ものづくりバレー」実現にむけた地域開発と起業家育成の研究と実践」



教員

教授	若林 靖永	客員教授	松浦 恭也
客員教授	泉 秀明	客員教授	竹林 一
特定助教	高瀬 進	研究員	上野 敏寛
特定研究員(協力)	伊藤 智明		

目的

本講座の目的は、新商品開発の試作から量産に至る製造一貫支援をグローバルレベルで提供する、京都地域開発に関する研究・教育と啓発です。本講座では、商品開発ならびに起業に焦点を当てた事業デザイン、試作を含めたプロダクトリアライゼーション、さらにはインキュベーションとアクセラレーションを含めた「産業エコシステム」をグローバルレベルかつ京都に相応しい形で実現すべく、実践的な研究を進めます。同時に、そのような動きを先導する起業家にはどのような資質・能力が必要で、それらをいかに具備させるべきかについても実践研究していくことを狙いとしています。

講義協力 ◎ 事業デザイン論

活動紹介

● 京都ものづくりバレー研究会

本講座は、毎月第3火曜日に京都ものづくりバレー構想に関するミクロな動きにつながる研究会を開催している。2019年5月には第21回目を迎え、常時30名程度の参加者が集う研究会となった。

<主なテーマ>

- ・第13回「創業期スタートアップのリアルと戦略：クリエイティブAIの開発」
- ・第17回「医療機器分野における起業家育成プログラムとベンチャー創設」
- ・第18回「京都大学『着』スタートアップの誕生：投資交渉プロセスから学ぶアントレプレナーシップ」など



研究会風景

● 京都ものづくりバレーシンポジウム

2018年11月20日に「京都ものづくりバレーシンポジウム～エコシステム構築に向けた展望と課題～」と題してシンポジウムを開催した。200名を超える京都の産業エコシステムを担う方々にご参加いただき、京都ものづくりバレー構想の実現に向けて機運を高めた。2020年2月8日には「アントレプレナーシップとオープンイノベーション(仮)」と題してシンポジウムを予定している。

<主な登壇者(敬称略)>

金出武雄(カーネギーメロン大学ワイタカー冠全学教授、京都大学高等研究院招聘特別教授)、松野文俊(京都大学工学研究科教授)、中原林人(JOHNAN株式会社 JOHNANイノベーションラボ事業推進部長)、八木信宏(京都大学イノベーションキャピタル株式会社投資部プリンシパル)、大西晋嗣(京大オリジナル株式会社取締役)、若林靖永(京都大学経営管理大学院経営研究センターセンター長・教授)



シンポジウムで講演する金出武雄氏

● 事業デザイン論

本講座は「事業デザイン論」に協力し、受講生に対して「エフェクチュエーション」や「聞きとりの作法」を教え、ビジネスプラン作成を支援した。また、「事業デザイン論」受講生を中心に京大起業部が発足した。学生のビジネス系サークルを組織化しながら、学生(学部・大学院)ベンチャー創出に向けて活発に活動をはじめた。



事業デザイン論 講義風景